

情報通信技術を利用した 設備保守管理

【概要】

鉄道設備管理業務を効率化、正確化するために情報通信技術を活用した設備保守管理ツールを開発しています。主な機能として、設備台帳から軌道管理図等の設備管理図面を自動生成するシステム、事故現場から状況写真、略図等を区所へ直接送信可能な事故報告支援システムがあります。

【特徴】

(1) 設備管理図面自動生成システム

- ・ 設備台帳の属性データと設備の位置情報を、テキスト形式で一元管理し、それらを用いて図面を自動的に作成します。
- ・ 設備の変更／追加の際、設備台帳データの修正だけで図面に反映でき、設備管理の効率化が図れます。
- ・ 図面データをコンパクトに格納できるため、今後益々必要性が強まる携帯端末への適応性にも優れています。

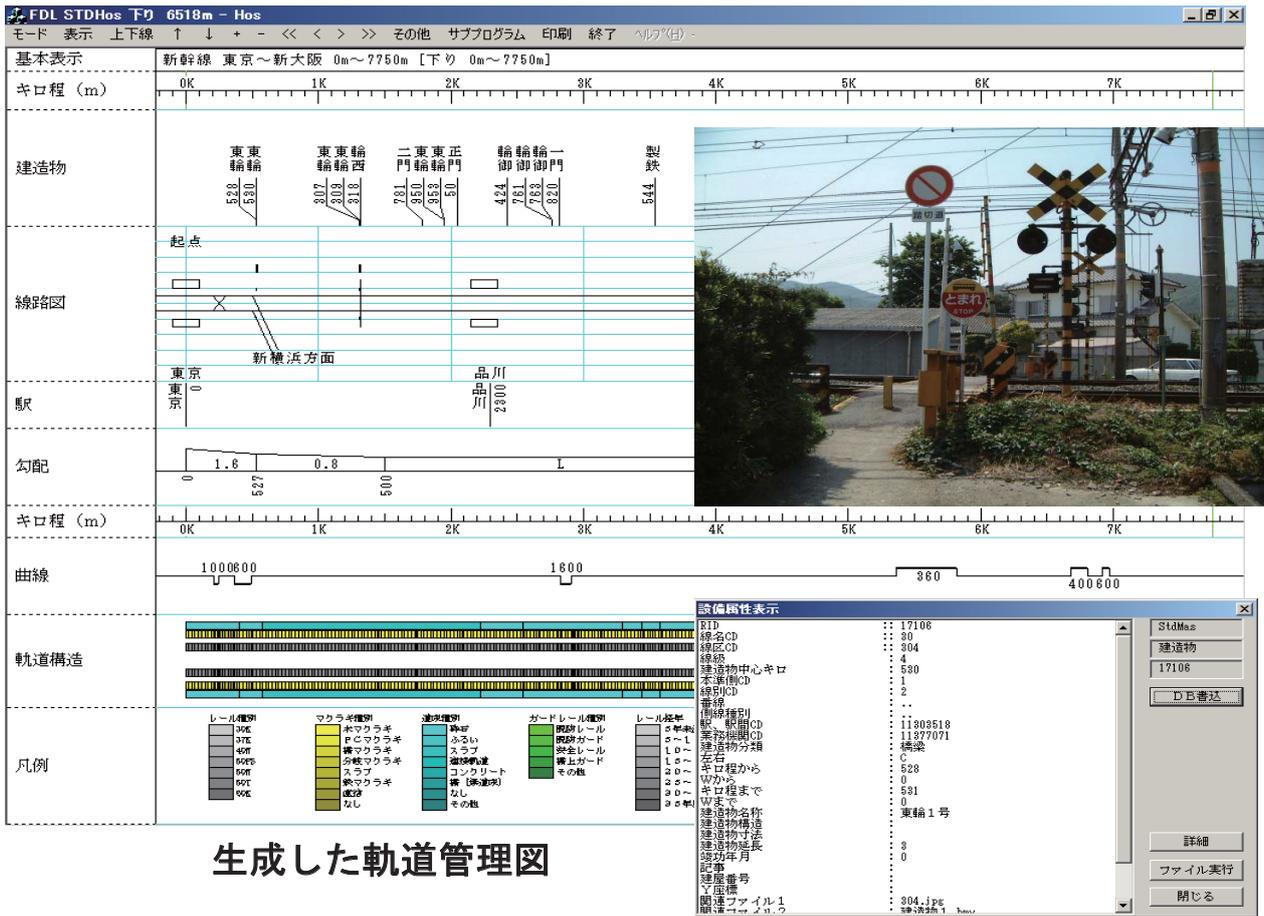
(2) 事故報告支援システム

- ・ 事故発生時に、事故概要（音声メモ）、現場写真、手書き略図を現場から直接区所へ送付できます。
- ・ 即時に事故状況の詳細な把握が可能となり、迅速な事故復旧を行うことができます。
- ・ 送付したデータは、事故報告書を作成するための基礎資料としてPCから自由に検索／参照し利用することができます。
- ・ 修正及び追加した情報のみ送付できるので、第一報、第二報と適宜情報を追加入力し、短時間で指令等へ送信可能です。

【用途】

設備管理図面自動生成システムは、保線、土木、信号の各保守現場に実用システムとして展開しています。事故報告支援システムについては設備保守以外に運転現場でも容易に導入可能です。

設備管理図面自動生成システム



事故報告支援システム

